

## 丸家さん 運転士復帰へ向けて 闘いの継続を確認

### 不当な「再教育」に抗議する集会

10月10日、「直ちに丸家さんを運転士に復帰させろ！ 不当再教育に抗議する集会」を開催して、不当な「再教育」の撤回と、東京駅に転勤を強制された丸家さんを運転士として復帰させるための様々な闘いを継続することをあらためて確認しました。

集会には東一運分会、車両所分会、地区分会からも参加をいただき、また他地本・分会から多くの激励をいただきました。

最初に庭山委員長から、

丸家さんが停止手配を取ったのは安全サイドからの判断であるにもかかわらず、これを認めず故意に取り扱いミスとして丸家さんに責任を取らせるもの。車掌は「何か変だ。いつもと違う」と思ったら直ちに停止手配を取るようになっていたが、これは運転士も同じだ。この瞬時の判断を認めないと言うなら、運転士は気持ちが委縮してしまい、停止手配を躊躇してしまう。指導科は「事故」に出来ないから掲示も出せていない。

この様な不当で根拠のない対応を認めるわけにはいかない。改めさせていかなければならない、と提起されました。

本部、地本、各分会から連帯と激励の挨拶をいただき、その後丸家さんから、運転士復帰に向けた決意と8月5日以降の経過が詳細に明らかにされました。

特にシミュレーター試験については、装置が現車の改修にそって変更されていない箇所があった。3回目の試験は9月18日で、終了後に助役から「合否は現場では判断できない。科長から話しがある」と言われたがその後の話しはなかった、等が明らかにされました。

あらためて、この「再教育」が不当なだけでなく無謀で理不尽で全くデタラメだということが明らかになりました。

最後に、丸家さんの運転士復帰の闘いを継続し、安全を脅かす「再教育」の撤回を求める、集会アピールを確認し終了しました。